

# 和歌山南ロータリークラブ週報



WAKAYAMA SOUTH R.C. CLUB WEEKLY

2020年 9月 第1週

2020～2021年度  
国際ロータリー・テーマ



ロータリーは親睦の原を拓く

事務所 〒640-8215 和歌山市橋丁23  
N-4ビル 2F  
TEL(073)423-8822 FAX(073)423-8821  
http://www.wminamirc.jp/

例会場 〒640-8156 和歌山市七番丁26-1  
ダイワロイネットホテル和歌山 TEL(073)435-0055  
例会日 毎週金曜日 12時30分～13時30分

ガバナー	藤井秀香	幹事	水城 実
会長	樫畑国俊	会長(エク)	上西豊基
直前会長	山田 守		
副会長	中村和子		
会報委員長	石橋英二	副委員長	江口暢洋
委員	北芝昌明	宮下直子	野村壮吾
	西村昌記	植田好紀	越部早絵

2020-2021年度 RI会長 ホルガー・クナーク 「Rotary Opens Opportunities」

## 本日のプログラム

2020年 9月 4日(金) No.2812

第2868回 例会

- ソング「君が代」・「奉仕の理想」
- 卓話「ルクセンブルクについて」  
立命館大学  
教授 田原 憲和 様

## 次週のプログラム

9月11日(金)

- ソング「四つのテスト」
- 卓話「2020 夏 高校野球和歌山大会を終えて」  
和歌山県立和歌山商業高等学校 校長  
和歌山県高等学校野球連盟 会長  
愛須 貴志 様

## 会長報告

本日は日本赤十字社センター長 中 様にお見え頂いております。後ほど卓話を宜しくお願い致します。

先週の土曜日、午後3時あたりだったでしょうか、凄いスコールがありました。

丁度、大浦街道を車で走行中だったのですが、いきなり曇ってきたかと思うと、外気温が35℃ほどあったものが、突然25℃まで下がったのです。一瞬にして外気温が10℃も下がるのですから、自然の力は凄いですね。

また、昨日もお湿り程度の雨が降って少し気温が下がりました。

この時期、一雨毎に涼しくなっては来るようですが、昨今熱中症が増えているようです。油断せずにご自愛下さい。

さて、先週の例会はIDMの発表でしたが、テーマの一つにロータリーの原点とはというのがありました。

楽しくなければロータリーではない、親睦ありきであるとか、奉仕活動であるとかという意見がだされていました。

そこで、ポール・ハリスの体験に照らして、参考になる文献を見つけましたのでご報告致します。

シカゴロータリークラブは、当初親睦だけのクラブでしたが、ポール・ハリスは1907年頃から親睦団体であるクラブに奉仕の概念を入れようとしていました。



この時のポール・ハリスの考え方は「初めに親睦ありき」その上に位置する概念として奉仕ができてきたのであるから奉仕が親睦と相入れない場合には奉仕が優先されるべきだという立場をとりました。

結果として親睦がないがしろになってしまったのです。ここでポール・ハリスは親睦と奉仕を上下でとらえたことのあやまりに気付きました。

即ち、親睦と奉仕とは同じレベルの概念として捉えるべきであった。

この両者は、ロータリークラブという社会制度において表裏一体の関係であり、何れを優先させてもいけない。ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿るのであるということです。

ポール・ハリスはその気持ちを全米のロータリアンに訴えるべく論文を書きました。

これが有名な'Rational Rotarianism' 即ち、合理的な立場から考えると、ロータリーの思考というものは、どのような特徴をもった思考かということ解説したものであります。

この論文でポール・ハリスは「自分はロータリーの創設者として、神様の思召しにより、一段と高い所に登ることを許され、ロータリーとは何かを問われれば、自分は躊躇なく寛容と答えるであろう」と言っています。

ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿ると説いた訳です。



前週の報告 2020年8月28日(金)  
出席報告 会員78名(出席規定適用免除会員9名)  
出席59名 ホームクラブ出席者75.64%

四つのテスト (言行はこれに照らしてから) I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

## 幹事報告

- ・会員名簿が出来上がりました。60周年を記念して還暦の朱色となっています。
- ・少年野球大会は小規模での開催となります。
- ・地区から社会奉仕委員会、米山カウンセラー研修の連絡がきています。担当の委員長様よろしくお願いたします。
- ・日本ロータリー100周年記念切手が販売されます。
- ・コロナ中の例会ズーム参加の検討を次週の理事会で協議する予定です。



## 卓話

### 「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の和歌山県の現状



日本赤十字社和歌山医療センター  
院長補佐 高度救命救急センター長  
災害医療救援センター長 中大輔 様

最初にCOVID-19の噂が私の耳に入ってきたのは2019年12月末で、中国で原因不明の肺炎が発生しているとの情報でした。その後、このCOVID-19は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)により引き起こされた感染症であることが判明し、2020年1月16日にはわが国で最初の感染者が公表されました。本センターでも感染症専門医が中心となり、1月下旬に院内対策本部を設置し、感染防護具の在庫確認と補充、院内の感染対策などを開始しました。2月13日、和歌山県内で初の感染者が確認されてから6か月半が経過し、現在までの和歌山県内の感染者数は総勢228名のぼり(8月26日現在)、18名の陽性患者が今も入院療養を余儀なくされています。

2月、国内で最初の医療機関クラスターが済生会有田病院で発生した際、和歌山県は仁坂知事の方針で、済生会有田病院の入院患者のみならず全職員、臨時職員、委託業者に至るまで、病院に関係するすべての人を対象に徹底したPCR検査を実施しました。これは濃厚接触者のみPCRを実施するという当時の国の方針とは大きく違ったものですが、この仁坂知事の英断により感染者を早期に発見することができ、SARS-CoV-2の感染拡大を最小限に抑え込むことができたことは間違いのない事実です。済生会有田病院はわずか3週間後に終息宣言し、普段の臨床業務を再開することができました。本センターも軽症から重症まで多くのCOVID-19患者の入院治療にあたってきましたが、院内感染は言うまでもなく、職員誰一人に濃厚接触者を出さず、癌治療に代表される高度医療や救急医療も普段と変わりなくおこなえています。

今回はCOVID-19の概要と和歌山県の現状、本センターの感染対策、また一般的なSARS-CoV-2感染防止に関する留意点についてお話させていただきます。

## 委員会報告

青少年育成委員会  
金谷直俊副委員長

第42回和歌山南ロータリークラブ旗争奪西支部野球大会が、開会式9月6日、閉会式が13日に行われます。今年の開会式は三密を避けるため、人数を制限して試合をする人のみでの開会式となります。ロータリーとしても、会長、幹事、委員会メンバー数名のみの参加とすることになりました。始球式や会長挨拶は例年通り行いますので、その模様は動画配信させていただきます。



## ニコニコ箱



奥様誕生日・・・藤岡君  
前窪君・・・久しぶりにアサヒビールの藤岡さんを拝顔して！  
戸井君・・・ちょっといいことがあります。  
玉井君・・・楠部会員に写真をいただいて。  
村上君・・・楠部さんに写真を頂いて。

計¥ 9,000 - 累計¥ 577,000 -

## 親睦活動委員会メンバー

